2022年度　須磨学園中学校入学試験

国　　語

第 2 回

（注　意）

　解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と名前を記入しなさい。

１．すべての問題を解答しなさい。

２．解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

３．字数制限のある問題については、記号、句読点も１字と数えること。

４．試験終了（しゅうりょう）後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

※　設問の都合上、本文を一部変更している場合があります。

須磨学園中学校

※この冊子は再生紙・ベジタブルインキを使用しています。

一　次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

急ぐときには急いではいけない。［　Ⅰ　］、思い切ってゆっくりした方がいい――これはおそらく人間がかなり古い時代に発見した真理であっただろうと思われる。

ローマのスウェトニウスという人がオーガスタス・シーザーのことばとして書き残した、フェスティナ・レンテ（Festina lente）ということばは、はなはだ有名である。「ゆっくり急げ」の意味。

京都大学の古典語の教授であった田中秀央博士は、はがきの終りによくFestina lente!と書いた。出版社との仕事の連絡などにはいつもかならず、この文句がついていた。はじめのうち、これは原稿のできないのに対する言いわけかと思ったこともあるが、そうではないらしい。博士の仕事は着実で決して約束に遅れることがない。［　Ⅱ　］、「ゆっくり急げ」というのは妙な急ぎ方をしていい加減な仕事にならないようにという自戒[注1]がこめられていたのかもしれない。ア<u>それだからといって、いつまでもぐずぐずしていてはいけない。あわてず、しかし、のろのろしないで仕事をしましょう、という自他に対する意思表示だったのであろう。</u>

このことばを英語に訳したのがMake haste slowly.（メーク・ヘイスト・スローリー）で、これも広く行なわれている[注2]。

寺田寅彦に「科学者とあたま」という随筆がある。科学者になるにはあまりバカでは困る。そうかと言って頭がよすぎてもタイ[a]セイしない。適当にぼんやりしている方がよいらしいという意味イ<u>の逆説をのべている。</u>

なぜ秀才ではよくないか。思うに、頭のよい人は困難があらかじめわかってしまう。すこしやってみて、この先は壁だとなると、すぐあきらめてしまう。そして別の方法や問題にとりかかる。ウサギ式[注3]になりやすい。それに引きかえ、愚直[注4]な人は、あらかじめよけいなことを考えない。わからない。とにかく問題にとり組んでゆっくり攻める。常識ではできないとわかっていることでも、じっくり腰を落着けて押していると、そのうち不思議と、あるところへ来て、思いもかけずカツロ[b]がひらけたりする。バタバタする目先のきく秀才は結局、何も大きな仕事ができないで終るのと好対照。適当に頭が悪い方がいいというのはたんなるパラドックスではない。

一見矛盾することばを結びつけて、一面の真理を伝えるのを修辞学[注5]でオキシモロンという。日本語では撞着語法と呼ばれる。たとえばこういうのがある。

公然の秘密
まけるがかち
ありがためいわく

秘密はシュウチ[c]でないからこそ秘密である。みんなが知っていたら秘密でも何でもないはず。ところが、秘密だというからよけいに好奇心[d]をそそる。またたく間に広がってしまい、知らぬものもないが、タテマエはあくまで秘密となっている。そういうことがよくある。

〝まけるがかち〟。どうしてまけがかちになるのか。まけた時点ではそれがそのままかちになることはない。それなら矛盾である。［　X　］というとき、視点を変えて、まけをかちと見ることができる。ときとして、敗者のまけおしみに利用されることがないとは言えないが、無理に勝負にこだわらずに相手にかちをゆずることが実際においても高く評価される。

〝まける〟のと〝かつ〟のとが同一次元でないから、この矛盾のように見える命題[注6]が矛盾ではなくなる。

〝ありがためいわく〟は、「ありがたいと思う気持よりは迷惑だと感じる気持の方が強い様子」だと説明している国語の辞書がある。ウ<u>これではオキシモロンにならないのではあるまいか。</u>相手が好意、親切からしてくれていることはわかっている。それに対しては、ありがたいと思わなくてはならない。ところが、こちらの正直な気持から言えば、すこしもありがたくない、どころか、迷惑ですらある。その二つの立場の違いをふまえて、ありがためいわく、と言うのである。

オキシモロンには論理の飛躍がある。エ<u>そのすき間を飛びこえられない人には、何のことを言っているのかわからないだろうし、逆に飛びこえられる人には何とも言えぬおもしろさと感じられる。</u>

［　Ⅲ　］、撞着語法はかなりシャレたものなのである。それが日常生活で何気なく古くから使われてきたというのは、なかなか興味ぶかいことである。大人のことばである。こどもには通じない理屈である。

急がばまわれ、にも論理的ギャップがある。急いでいるのなら、当然、最短コースを行かなくてはならない。急いでいるのなら、急がなくてはならない。

ところが、あわてると、さきにものべたように、ロクなことがない。思いがけない失敗をやらかして、かえって、おくれてしまう。ここまでの部分をのみこんで表面に出さず、だから、急いでいるときには安全な、まわり道をした方が、意外に早く行かれていい、という部分だけを表面に出す。

そういうかくされた部分がわからないと撞着語法は［　A　］の合わない話になるが、言外のことばを解すれば、何とも言えないおもしろ味がある。

急いでいるときに、おあつらえ[注7]に向うからバスがやってくる。まだ停留所まですこしあるから、走らないと間に合わない。走って行ってやっと間に合った。やれやれと飛び乗ると、何と行き先の違うバスではないか。とんでもないところへもって行かれてしまう。こんなことなら、ゆっくりしていた方がよかった。あわてバスに乗らなかった方がよかった。そういうことはバス以外に、いくらでもある。

世の中に遅れないようにというつもりで、流行を追っているのも、［　B　］バスに飛び乗るのと似ている。新しく新しくと思っていて、かえって時代遅れになってしまう。

迂遠[注8]に見えそうなことが案外、実際的な近道であることがすくなくない。

オ<u>ゆっくり急げ。</u>

（外山滋比古『ことわざの論理』による）

注1　自戒 … 自分で自分をいましめること。
注2　行なわれている … ここでは「使われている」の意。
注3　ウサギ式 … 本文の前にウサギとカメの童話のたとえがある。
注4　愚直 … 正直で融通のきかないこと。ばか正直。
注5　修辞学 … 文章表現の方法を研究する学問。
注6　命題 … 解決すべく課された問題。
注7　おあつらえ … 希望通りであること。
注8　迂遠 … 遠回りをしている様子。

一の設問

問一 Ⅰ ～ Ⅲ に入る語として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。（ただし同じ番号は二度以上用いないこと。）

1 つまり　2 そして　3 ところが　4 むしろ
5 だから　6 なぜなら　7 たとえば

問二 A には、「つ」から始まる「合うべき道理」という意味の四字の言葉、B には、「や」から始まる「深い考えもなしに」という意味の五字の言葉が入ります。その言葉をそれぞれ答えなさい。

問三 「それだからといって」（――線部ア）とありますが、その内容として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 急いで適当な仕事をしないように努めるからといって
2 急いでいい加減な仕事ばかりをしているからといって
3 妙に急いで、いい加減な仕事を普段からしているからといって
4 妙に急いで、「ゆっくり急げ」という言葉に反するからといって

問四 「逆説」（――線部イ）とありますが、これと**違う意味で用いられている**言葉を**二つ**選び、番号で答えなさい。

1 パラドックス　2 無理　3 撞着語法
4 好対照　5 オキシモロン

問五 X に入る内容として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 ところが、まけた人は納得しているが、本人がまけを認めようとしない
2 その場ではたしかにまけたけれども、長い目で見れば結局、自分の得になる
3 ところが、まけた人は納得しているが、本人がまけを自覚していない
4 そのときはもちろんまけはしたが、次はきっとかてると確信している
5 ところが、まけた人が同情を誘（さそ）い、相手にかちを譲（ゆず）ろうという気持を起こさせる

問六 「これではオキシモロンにならないのではあるまいか」（――線部ウ）とありますが、その理由の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 その辞書の説明では、「迷惑だと感じる気持」の方が強いという説明だけで終わっていて、ありがたいのか迷惑なのかについて決定していることにならないから。
2 その辞書の説明では、「迷惑だと感じる気持」の方が強いという説明だけで、ありがたいけれど迷惑だという人々の微（び）妙（みょう）な心情に触れられていないから。
3 その辞書の説明では、「迷惑だと感じる気持」の方が強いという説明だけで、ありがたいと迷惑という一見矛盾する心情における論理の飛躍について説明していないから。
4 その辞書の説明では、「迷惑だと感じる気持」の方が強いという説明だけで終わっていて、論理の飛躍がなく、同一次元ではないことが明記されていないから。

問七 「そのすき間を飛びこえられない人には、何のことを言っているのかわからないだろうし、逆に飛びこえられる人には何とも言えぬおもしろさと感じられる」（――線部エ）とありますが、これはどういうことを言っていますか。次の文に合うように、それぞれ指定された字数の言葉を本文中から抜き出して答えなさい。

オキシモロンにかくされた A 七字 を理解できない人には、その意味がわからないが、逆に B 六字 を理解できる人には、何とも言えないおもしろさが感じられるということ。

問八 「ゆっくり急げ」（――線部オ）とありますが、寺田寅彦氏の随筆に示された科学者の例に触（ふ）れつつ、この言葉に込められた筆者の考えを一〇〇字以上一二〇字以内で説明しなさい。（句読点も一字として数えます。なお、採点については誤字・脱字や、適切に解答らんを使用しているか等についても見ます。）

問九 ～～～線部a～dのカタカナを漢字で答えなさい。

a タイセイ　b カツロ
c シュウチ　d タテマエ

二

ＮＮ製薬に勤める片桐依千佳は、仕事に熱心に取りくむ性格で、上司からの圧力もあり、自社が開発する新薬の販売に有利に働くように薬の実験データを書き換えてしまいました。会社のための働きが認められ社長賞を受賞したものの、結局逮捕され、取り調べを受けることになりました。以下はそれに続く場面です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

「あなたに見せたいものがあるんだ。きっとね、驚くと思うよ」

そう思わせぶりな口調で言って、乗蔵検事[注1]は依千佳の顔の前に一枚のプリントをかざした。十数行ほどの文章が印刷されている。右上には、見覚えのあるＮＮ製薬のロゴマーク。どうやら会社のホームページをプリントアウトしたものらしい。肋骨を突き破らんばかりに、心臓が弾み、依千佳は膝に乗せた手を強く握った。

これは、外の情報だ。勾留[注2]が始まって早五ヶ月、いくら望んでも得られなかった、自分と、自分の会社にまつわる新しい情報。

時候の挨拶や騒動への謝罪に続いて、全体の中ほどに綴られた内容に、依千佳は全身が凍りつくような恐怖を感じた。

【社内調査の結果、逮捕された元社員の事件当時の上司の中には、元社員の一連の研究への関与を認識していた者がいたことが判明しました。但し元社員が上司から具体的な行動を指示されていたとの証拠はありませんでした。また経営陣の一部の者は立場上、元社員の研究への関与について、認識して然るべきであったといえます。しかし経営陣は当該元社員の日々の業務について、把握しておりませんでした】

いかにも会社の声明らしい、回りくどくて要点のつかみにくい文章だ。だが、内容を整理すれば、主張はむしろ分かりやすすぎるくらいで――。

「あなたねえ、このままだとトカゲの尻尾と同じで、いいように利用された挙げ句ぽいっと切り離されて終わりだよ？　そんなのイやりきれないだろう？」

俺は悔しくてならない、と乗蔵はまるで跳び箱の前で立ちすくむ生徒を励ます教師のような、熱意にあふれた声で言った。

「しゃべりやすいところからで構わない。本当のことを教えてくれ。分かるよ、俺だってこの年まで働いてきて色んなことがあったんだ。あなたの辛い気持ち、苦しい気持ちは、よーっく分かる。でも、どんな残酷な物事であれ直視しなければならないときはある。そうだろう？　今がそのときだと、思わないか？」

弁舌をふるう乗蔵も、灰色の壁も、安っぽい事務机も、なにもかもが遠い。ウ依千佳は自分がここにいないみたいだと感じた。

会社が私を捨てた。なにもかも私が勝手にやったことだと発表した。有能で、社長賞をもらうほど会社に献身した片桐依千佳という人間はもういない。いない、ということになってしまった。

それなら、私自身に残る価値なんてゼロだ。あんなに頑張ったのに。寝る間を惜しんで働いた、家庭を壊した、怖くてもいやでも折れなかった、我慢した、それなのに。

崩れるのはいやだった。それはプロではない、と強く忌避[注3]する心があった。しかし耐えようもなく両目の奥から涙があふれ、スウェットに包まれた太腿を濡らした。ぽ、ぽ、ぽ、と落ちていく大粒の雫がガラス玉みたいだ。自分の体液だと思えない。

「司法も、世間も、勇気を持って正しいことをする人の味方だ。すべてを明らかにして罪を償い、人生をやり直すんだ。……あなたならできる」

悲しみで塗りつぶされた意識にふと、真摯な声がすべり込み、依千佳は思わず顔を上げた。初めてまともに目を合わせた乗蔵は、まるで彼自身も依千佳と共に捨てられたかのような憂いと怒りを帯びた表情で、二度、三度と力強く頷いてみせた。まるでヒューマンドラマ[注4]の名シーンのような、美しい共鳴のひとときだった。

依千佳はわずかに表情を緩めた。乗蔵へ微笑みかける。彼への［　A　］が、自然と口角を上げさせた。

――あなたが今、一ミリも心を揺らさずに、本当はかけらもそう思っていないことを口にしたって、分かるよ。

――だって私も同じようなことを何度もしてきたから。

真っ直ぐすぎて不自然なまなざしと、まるで自分の言葉の信憑性を高めようとするかのような頷きのタイミングが、彼のメッセージが作りものであることをありありと示していた。恐らく乗蔵は、用意した切り札が首尾良く依千佳を動揺させたことに気をよくして、勝負を焦ったのだ。

a唐突な微笑に、乗蔵は穏やかな表情をさっと引っ込めた。それから続けてなにか言っていたけれども、依千佳は目をつむり、口を閉ざしたまま、右から左へと聞き流した。

注5独房へ戻り、畳に腰を下ろした依千佳はようやく息を吐いた。衝撃でなにも考えられなくなっていた頭にやっと血が巡り出す。

会社は、本当に私を捨てたのだろうか。

捨て……たのだろう。逮捕までされたのだ。注6懲戒免職に等しい扱いをされても仕方がない。とはいえ、今思えば自主退職を提案されたタイミングはいささか不自然だった。まるで依千佳をメディアの前に出したくないような、「当該社員はすでに退職しており、会社としてこれ以上の対応はいたしかねます」といった断り文句を作りたがっていたような、ぎこちない強硬さがあった。しかも「騒動が収まったら、しかるべき対応をとらせてもらう」と人事部長は言った。

依千佳は目をつむり、両手で顔を覆った。しかるべき対応。b曖昧な言葉だ。てのひらをぎゅっと顔に押しつけ、意識を集中させる。冷静に、冷静に考えるべきだ。

やはり［　B　］、と思う。

ただ、もっとも分かりやすくかつ組織への被害が少ない筋書きとして「一人の社員が会社の指示をはき違えてトラブルを起こした」という回答が選ばれたのだ。この騒動が早期収束へ向かう最短ルートを、かつて自分が参加していた販促[注7]チームのような、部署をまたいだ特別チームが構築したに違いない。

そしてすべてがc つつがなく終わったとき、私は再び会社に声をかけられるだろう。口を開かれては、困るからだ。

依千佳は深呼吸をした。視野を広く保たなければいけない。弁護士の峰木も言っていたではないか。裁判のあとも人生は続くのだ。真実だの告発だの社会正義だの、そんなふわふわした霞のようなものは、ひと月たりとも自分を食べさせてはくれない。

そもそもこんな風にメディアで大々的に取り上げられ、悪人として印象づけられた人間を雇用してくれる会社なんてあるわけがない。なら自分は、結局どれだけひどい扱いを受けても、ＮＮ製薬から離れることはできないのだ。

古びてささくれた畳の目に意味もなく爪を食い込ませる。やるべきことが整理され、目の前にエ一本の道が開けた気がした。上下左右をコンクリートの壁に囲まれた、狭くて暗い、真っ直ぐな道だ。

どうして私はこんな道を歩くことになってしまったんだろう。

（彩瀬まる『草原のサーカス』による）

注1　検事 … 逮捕された者を取り調べ、起訴するかしないかを判断する役職。
注2　勾留 … 逃げたり、証拠を隠したりしないように拘束すること。
注3　忌避 … きらって避けること。
注4　ヒューマンドラマ … 人間らしさを主題としてえがかれるドラマ。
注5　独房 … 定員が一人だけの収容部屋。
注6　懲戒免職 … 罪を犯した場合や重大なあやまちを犯してしまった場合に仕事をくびになること。
注7　販促 … 販売を促進すること。

二の設問

問一 ═══線部a～cの本文中での意味として最も適当なものを後からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

a「唐突な」

1 計画性がない　2 いつわりだと感じられる
3 気に入らない　4 その場にそぐわない

b「曖昧な」

1 矛盾をふくむ　2 二重の意味をもつ
3 はっきりしない　4 とんでもない

c「つつがなく」

1 無事に　2 知らない間に
3 単純に　4 予定通りに

問二 「肋骨を突き破らんばかりに、心臓が弾み、依千佳は膝に乗せた手を強く握った」（═══線部ア）とありますが、このときの依千佳について説明したものとして最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 知りたいと思っていても勾留中のため知ることができなかった海外の情報を前に、気持ちが高ぶっている。
2 逮捕された身なので聞くのをためらっていた会社の情報を知ることができるので、興奮している。
3 勾留中であるのをよいことに、会社が依千佳だけを悪者にしているのではないかと考え、不安になっている。
4 ずっと知りたいと願っていた自分と会社の情報をようやく知ることができると分かり、緊張している。

問三 「俺は悔しくてならない、と乗蔵はまるで跳び箱の前で立ちすくむ生徒を励ます教師のような、熱意にあふれた声で言った」（═══線部イ）とありますが、このように言う乗蔵の真意を説明したものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 依千佳のことを思いやっているような行動を示すことで、依千佳の不安を少しでもとりのぞこうとしている。
2 もう少しで罪を認めそうな依千佳に対して、わざと熱意のあるような話し方をして罪を認めさせようとしている。
3 依千佳に同情するような行動をとることで、依千佳の感情にうったえて早く自白させようとしている。
4 自分がどれほど依千佳のことを心配しているかを伝えることで、依千佳は孤独ではないと示そうとしている。

問四 「依千佳は自分がここにいないみたいだと感じた」（═══線部ウ）とありますが、このときの依千佳について説明したものとして最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 依千佳から具体的な話を聞き出そうとする乗蔵の態度があまりになれなれしいことにとまどっている。
2 会社のためを思って大変な思いをしたのに、会社から見放されたショックで現実感がなくなっている。
3 会社のためとはいえ、許されない行為をおかしてしまったと気づき、罪悪感でその場から消えたくなっている。
4 会社が守ってくれないのなら有罪になるにちがいないと思い、落ちこんでいる。

問五 ［　A　］に入る語句として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 信頼と安心　2 理解と共感
3 不信と拒絶　4 感動と感謝
5 不安と焦り

問六 ［　B　］に入る語句として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 会社のためにやったことはまちがいだった
2 会社は私を捨てたわけではない
3 私は会社に従うしかない
4 会社は私を捨てたのだ
5 私は会社を離れるべきだ

問七 「一本の道」（═══線部エ）とありますが、具体的にどうすることですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 罪を認めない態度をとり続けること。
2 罪を会社のせいにしてしまうこと。
3 NN製薬以外の就職先を探すこと。
4 自分ひとりだけが罪をかぶること。
5 一生独房で過ごし続けること。

↓ここにシールを貼ってください↓

受験番号

名前	

２０２２年度　須磨学園中学校　第２回入学試験解答用紙　国語

一

（※の欄には、何も記入してはいけません）

※

問一

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

※

問二

A

つ

B

や

※

問三

※

問四

・

※

問五

※

問六

※

問七

A

B

※

問八

120　100　80　60　40　20

二

（※の欄には、何も記入してはいけません）

※

問一

a

b

c

※

問二

※

問三

※

問四

※

問五

※

問六

※

問七

※

問九

a　b　c　d

※

※

※

2022SUMAJO210